

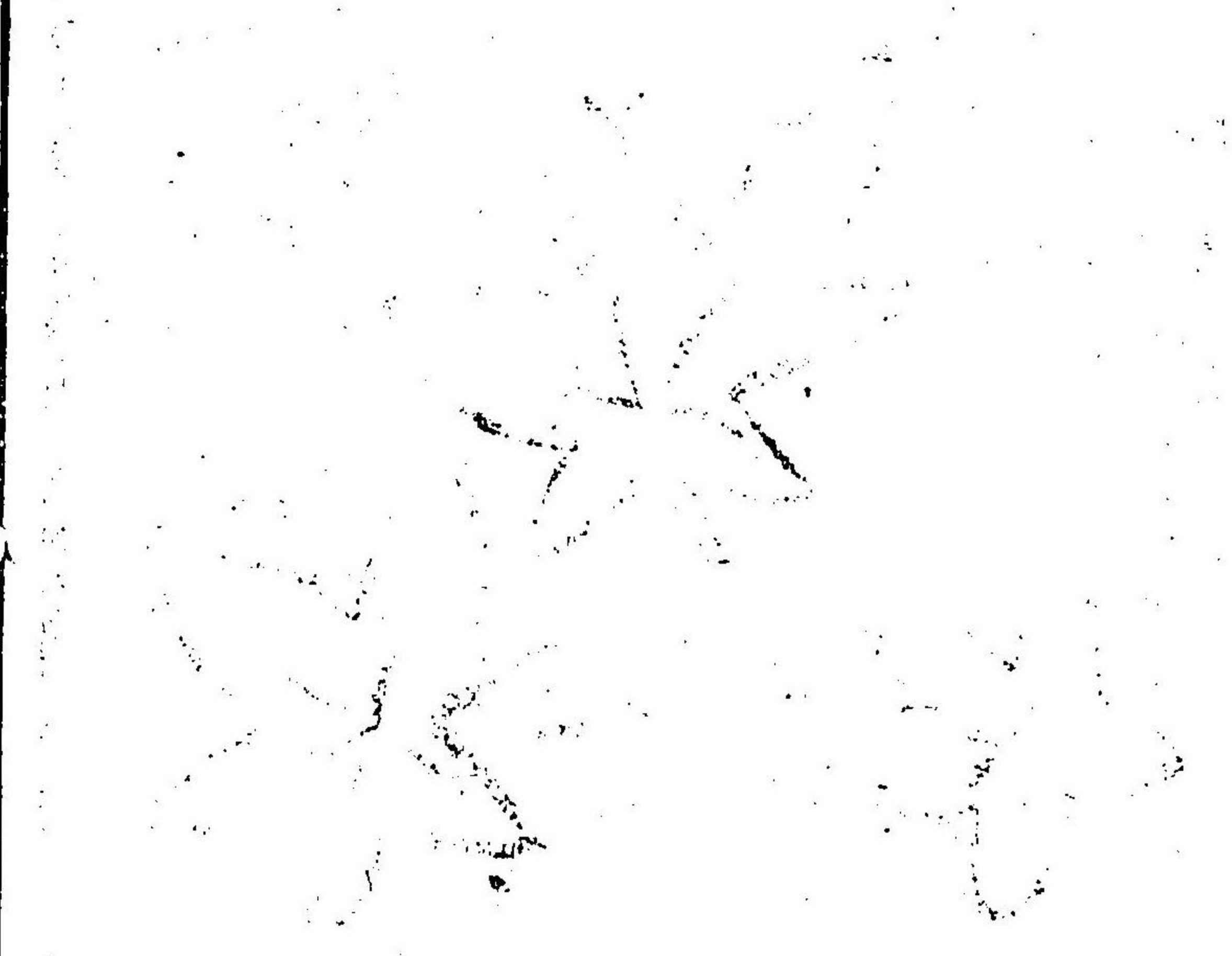
川五右衛門

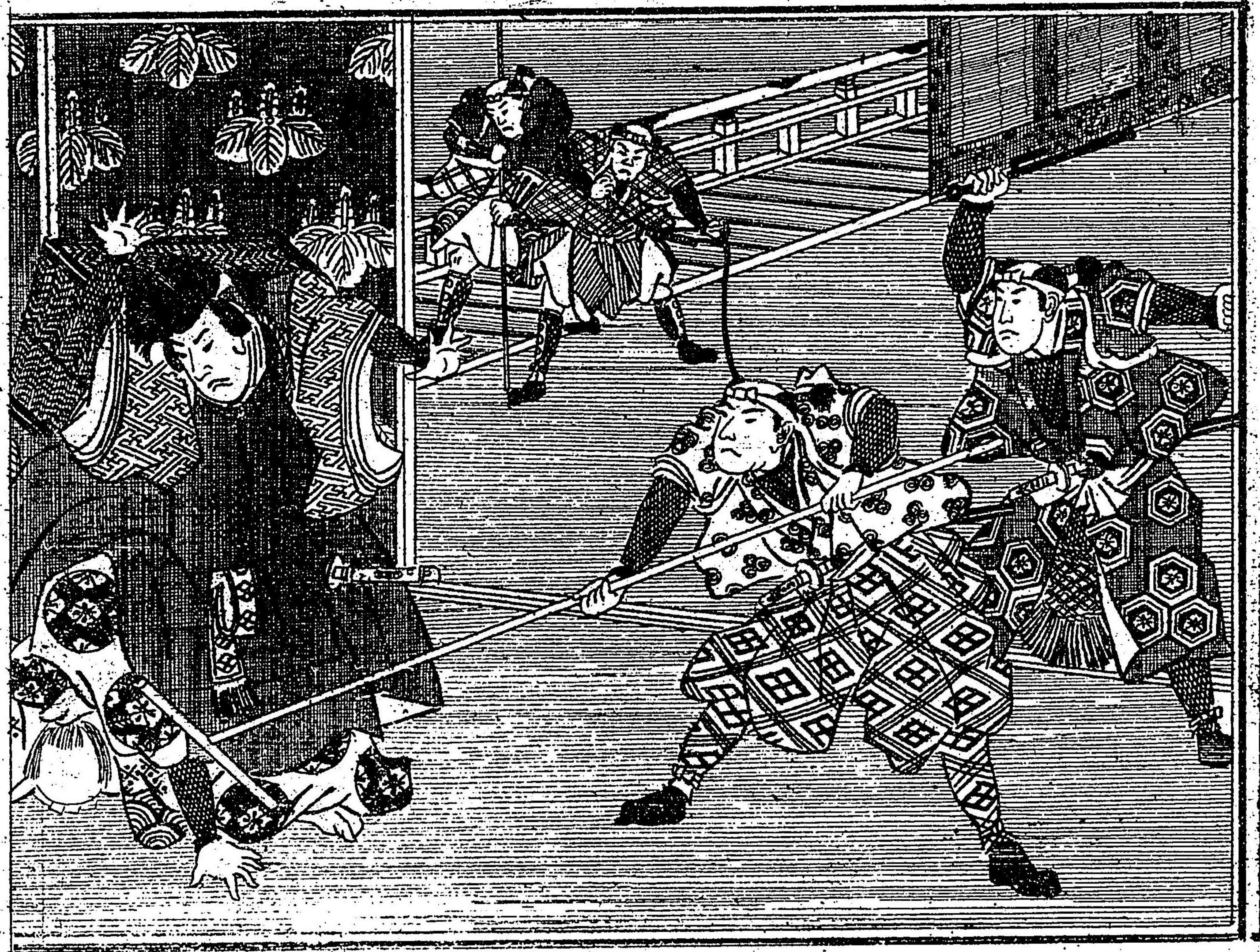
946





No 13236







術羣盜
漫說意

方金梶暉
用倉落



敦島の徳ふ
 人まを和らげた
 もあれとそれあり
 りの強賊の石川五右衛門
 近江に住居る表の京
 八月の浪人といふ
 夜きたれ白波み



五右衛門
五郎市を
高くさし上げ
一首の歌を
高声



石川や流のまは
つらきものも
種々多し
五郎市と油の中へ
と突込其身も
油の中へ身
と流の茶河原
露霜と消ても
残る悪名の余
五郎市
御仕置場を
金ヶ洲と云
傳へけり

明治十一年十月十日印刷
明治十一年十月三十日出版
大坂南区鶴堂町十二番地平民
編輯者 松田権太朗
大坂南区江前五番地平民
印刷者 田中三郎

